



# 動物レスキュー通信

2019年5月 第72号 (令和元年5月1日発行)

発行元  
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : [sizuku.foundation@gmail.com](mailto:sizuku.foundation@gmail.com)

お問い合わせ : [sizuku.foundation@gmail.com](mailto:sizuku.foundation@gmail.com)

# ネ」「ちゃんの一生 その短い生涯



厚生労働省の発表によると、昭和40年の平均寿命は男性81.09歳、女性81.26歳と大幅に伸びました。高度な医療技術や国民の健康への関心度の高さがその要因に繋がっていると言われています。そして人間だけではなく「ワンちゃん、ネコちゃん」の平均寿命も長くなっています。一般社団法人ペットフード協会「全国犬猫飼育実態調査」によると平成22年の平均寿命は「ワンちゃん」では13.9歳、「ねこちゃん」で14.2歳、平成30年には「ワンちゃん」は14.29歳、「ねこちゃん」は15.32歳など、とても長い命の「ワンちゃん、ネコちゃん」ですら、1歳近くものびるのは非常に大変な事です。これに関しては獣医療の向上や飼い主さんの意識の変化、そして食べ物の改善も大きく関わっています。そんな人間よりもはるかに短い「ワンちゃん」の一生とはどんなものなのか、人間と比較しながらお話して行こうと思います。

ネコちゃんの成長

子ネ「期(生後6ヶ月まで)生まれたての  
ネコの赤ちゃんの体重は80g~100gほど  
しかありません。片手の手のひらに乗つ  
てしまうくらい小さいです。実際に私も牛

青年期(6ヵ月~7歳)一気に大人の顔になります。そして乳歯がぬけて永久歯が生えそろいます。毛も成猫の物に生えかわります。この頃から発情期を迎え、繁殖する事が出来るようになります。発情期を迎えてしまふと鳴き声やマーキングなど飼い主さんも大変ですが、発情しているのに繁殖できないネコちゃんにもストレスがたまってしまいます。飼い主さんが子ネコの誕

生を望まないのであれば、必ず去勢、避妊手術を受けさせてあげて下さい。これを怠ると脱走などのアクシデントがあるとメスの場合は思いがけない所で妊娠して帰つて来たり、オスの場合は野良ネコさんを妊娠させて帰つてしまつ可塑性もあります。そしてこの時期が一番の遊び盛りです。多頭飼いの場合は大運動会が繰り広げられます。1匹でも喜んでいるネコちゃんはストレスがたまらないように、飼い主さんがおもちゃで遊ぶ時間を取つてあげて下さい。人間で言う「9歳」、44歳に成長。7年足らずで一気に働き盛りまで成長します。

壮年期（7歳～10歳）この頃になると、だんだんと激しい遊びにはついていけなくなります。お気に入りの場所にたどり着いた時には登れなくなつてしまつたり、毛づくろいや爪とぎも以前よりは減つてきます。毛づくろいが減る事で毛艶も悪くなり、毛が白髪交じりになつてきます。以前よりも寝ている事も多くなつてくるはず。自分で毛づくろいがあまり出来ない分、飼い主さんがマメにブリーフィングしてあげるのがとても大切です。病気にもかかりやすくなりますので、注意深く観察してあげましょう。人間で言うと44歳～56歳。ちょうど病気になりやすい年齢です。

老年（10歳以降）一日のほとんどを寝て過ごすようになつてきます。おもちゃで遊んであげようと思つても、なかなか反応してくれなくなります。食べる量が減り毛が抜け、内臓や歯も弱つてくるなど、色々な問題が出てきます。今まで以上に飼い主さんはネコちゃんの体調を気遣つてあげましょ。場合によつては認知症などにかかるてしまうネコちゃんもいますので、日々の観察がとても重要です。